

テスト事例 3 (再構成探求型)

【問題（抜粋部分）の設定状況】

- ・ それまでの問いで消費税増税に対する肯定的立場、否定的立場の言説を把握している。
- ・ 解答者は、消費税増税による日本社会の楽観的もしくは悲観的な未来予測を行う。

※解答に伴う楽観的・悲観的のいずれかの選択は評価の良し悪しには影響しない。

【問題事例（一部抜粋）】

問3 消費税増税に対して、ニュースでは良い見方と悪い見方があります。現在消費税は5%ですが、2014年4月には8%になり、2015年10月には10%になる予定です。

消費税を増税することでの楽観的な日本社会（日本のよい姿）の未来の予想、または悲観的な日本社会（日本の悪い姿）の未来の予想を次の資料Ⅰ～Ⅵのうち2つ以上用いて述べなさい。

○ 関連性・他者性に対応

ループリック事例

	ループリック
5	自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて根拠を示し、自身の考える未来を明確に予想している。 予想する未来の影響について、楽観的な未来予測に対してはリスクがある点、悲観的な未来予測に対してはその打開策を提案することができている。
4	自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて根拠を示し、自身の考える未来を明確に予想している。 予想する未来の影響について、楽観的な未来予測に対してはリスクがある点、悲観的な未来予測に対してはその打開策を提案することができていない。
3	自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて活用して、自身の考える未来を予測している。
2	自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を関連付けて活用して合理的に説明している。
1	自らの立場を明確にしている。 2つ以上の資料を用いているが資料を関連付けておらず説明も合理的とは言えない。

【ループリック・アンカー事例】

アンカー事例

尺度	想定される事例（アンカー）（以下は「消費税増税による日本の悲観的な未来予測」を選択した事例）
5	私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を 10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者の予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々とつぶれてしまうと考える。そうになると、必要最低限の物しか買わない人が増え、スーパーだけでなく商品を製造する会社まで潰れてしまい、職を失う人が増えて日本経済はますます悪くなると考える。そのため、所得が低い人には税金を一部免除したり、補助金を出していくことが必要であると考え。また、生活に必要なものは税金を免除するなどの対策も行うべきだと考える。
4	私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を 10%にした際、私たちの負担の予想、資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者の予想を述べている。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々とつぶれてしまうと考える。そうになると、必要最低限の物しか買わない人が増え、スーパーだけでなく商品を製造する会社まで潰れてしまい、職を失う人が増えて日本経済はますます悪くなると考える。
3	私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を 10%にした際、私たちの負担は多くなる。資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者も予想している。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからず次々とつぶれてしまうと考える。そうになると、将来的に何も娯楽のない日本社会になっていくと考える。
2	私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱでは消費税を 10%にした際、私たちの負担は多くなる。資料Ⅲでは消費税増税により買い物をする人が少なくなると小売業者も予想している。この二つの資料より消費税増税により私たちの負担は多くなり、また買い物を控える人たちも増えることからスーパーなどはもうからないと考える。
1	私は消費税増税により日本は悪い方向に進むと考える。その理由として資料Ⅱと資料Ⅲを使う。資料Ⅱで消費税を 10%にした時、私たちの負担は多くなる。また、資料Ⅲから消費税増税により買い物をする人が少なくなると予想する小売業が多いので、生活に困る人がでくると考える。

【本問題事例の位置づけ】

※特に重視されるものに限定して示した		パフォーマンス評価の枠組み		
		原理と一般化	本質的な問い	永続的理解
社会科の枠組み	関連性 ：係わり	持続的な社会保障と健全な財政政策		持続的な社会保障の実現と健全な財政政策の両立への困難な舵取り（未来予測／論点把握）
	他者性 ：関わり		高齢社会における社会保障の財源確保の実現可能性を消費税増税に拠るべきかについての価値関係的判断	
	状況性 ：拘わり			